

IUHW

The gazette of International University of Health and Welfare



平成14年度
4月25日発行

そして「想い」は発つ…

特集

卒業式
入学式
卒業論文
大学院生



発行：学校法人国際医療福祉大学

編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線 8116

ホームページアドレス <http://www.iuhw.ac.jp/>

平成十三年年度卒業式 学部・大学院卒業生の声

三月十五日(金)、平成十三年度国際医療福祉大学学部卒業式並びに大学院学位授与式が挙行されました。式には、卒業生・修了生と保護者、渡辺喜美衆議院議員、斉藤清衛栃木県副知事、千保一大大田原市長など多くの来賓の方々にご出席いただきました。卒業証書を授与された卒業生は、保健学部看護学科一〇二五名、理学療法学科一〇〇名、作業療法学科八十九名、言語聴覚障害学科九十四名、放射線・情報科学科一〇八名、医療福祉学部医療経営管理学科一七名、医療福祉学科一〇九名、計七四二名で、医療福祉学科の芦沢茂喜さんが総代として学長より卒業証書を手渡されました。学位記を授与された大学院院修了生は、医療福祉学研究科 保健医療学専攻三十六名で、松江恵さんが総代として学長より学位記を手渡されました。続いて、各学科の学業成績優秀者に授与される学長賞が、林由香利さん(看護学科)、小林里江さん(理学療法学科)、池田香織さん(作業療法学科)、木間紅さん(言語聴覚障害学科)、鈴木一史さん(放射線・情報科学科)、高瀬智子さん(医療経営管理学科)、芦沢茂喜さん(医療福祉学科)に贈られました。学長式辞、理事長式辞、来賓の皆様からの祝辞をいただきました。卒業生を代表し芦沢茂喜さん(医療福祉学科)からの謝辞、大学院修了生を代表し奥田裕介さんからの謝辞があり、最後に学部卒業記念品と大学院修了記念品の目録が、それぞれ木間紅さん、長見豊さんから学長に手渡されました。



「」両親

優しい心を持つて人のために何でも出来る社会人になってもらいたいのです。

一年の時は四年間やっていけるか心配でしたが、お陰様で無事卒業することが出来ました。今後は誠実に、仕事にひたむきに打ち込んでもらいたいのです。

この四年間で仕事に対する意欲や方向性が明確になったと思います。医療の分野で、健康のため福祉のために役に立てる仕事で頑張れる社会人になってもらいたいのです。

社会人として共に生きる社会を担う一人として頑張ってもらいたいですね。

何とか無事に卒業することが出来たので喜んでいきます。一年生のときは心配しましたが一人暮らしをしてしっかりしたと思います。

一時悩んだことがあつて学校が辛いという時期があつたんですが、何とか乗り越えて無事に卒業することが出来ました。責任感の強い子なので、社会人になつたらもう少しリラックスして楽しんでもらいたいと思います。

ただただ感謝でいっぱいです。四年前の入学式での学長のパラリンピックのお話は今でも印象に残っています。お陰様でこうやって四年間無事に元気で卒業できたのは、本当にありがたいと思います。

学部生・大学院生

友達と過ごした四年間はとても楽しい学生生活でした。

勉強や遊びなど充実した四年間を過ごせました。今後は患者さんから感謝されるようなPTになっていきたいです。

これからは病院で患者さんからありがとうと感謝されるよう頑張つてゆきたいと思っています。

ハンドベル部で三年間頑張ったことが一番印象に残っています。患者さまのために頑張れる、言語聴覚士になりたいと思います。

悩み事などを相談できる友人が出来たことが印象に残っています。患者さんを自分の家族と同じように看護できるような看護婦になりたいと思います。

いろいろ友達に会つて、勉強だけではなく、みんなで一緒にしたことが印象に残っています。これからは自分のことももっとしっかり自分で出来るようになっていきたいです。

先生から学んだことを守つて人に愛されるような医療従事者になりたいです。

学生生活の五年間、結婚、出産、子育て、勉強といろいろあつて大変でした。これから社会に出て子育てと仕事の両立は大変だと思いますが新人ナースとして精一杯頑張ります。

これから社会に出て、医療従事者として活躍できればという気持ちで一杯です。

勉強しながら働いてゆくという、今まで自分が経験していないことをしたのが印象に残っています。これからしっかりと目標を持って上を目指せる社会人になりたいです。

働きながら大学院に通っていたので仕事と勉強を両立させてゆくのが大変でしたが、大学院二年間で学んだことを生かして、頑張つてゆきたいと思っています。

「インタビューへのご協力ありがとうございました。」

学科別卒業証書伝達式

◆看護学科



看護学科の卒業式も本年で四回目を迎えますが、今年は特別感慨深い卒業式のように思われました。それは、今年の卒業生が、旧カリキュラム最後の卒業生であったこと、前田笑さんのご父兄をお招きし、修了証を受け取っていただけのこと、荒井学科長が学科長職の職務を勇退され、大学院の専任教授となるに当たり、学部最後の卒業式を、卒業生とともに祝うことができたからです。この伝達式に、荒井学科長は卒業生に「自己決断力と整合性」という言葉を贈られました。また、後援会幹事菅井修一様から、大田原で親子でともに歩んだ四年間の日々の思い出を、卒業生代表の高原香里さんから、笑顔の似合う前田さんを忘れず、サンテグジュベリの言葉を胸に抱いて学生生活を歩んだ思いを大事にしたいということとをそれぞれ印象深く語られました。前田さんの遺影を飾る花や斎藤忠子教授の追悼の言葉に涙が誘われましたが、「私たちは前田さんと一緒に卒業します」という四回生の決意に遙かな未来と若者の新しい再生の力を強く感じて、この意義深い式を終えることができたことに心から感謝したいと思います。(藤原聡子)

◆理学療法学科



理学療法学科の卒業証書授与式は、上棟一階学生談話室にて行われました。まず、在校生手作りのお赤飯おにぎりと飲み物でおなかを満たし、午後一時より潮見先生の開会の言葉により式が始まりました。卒業証書は、卒業生ひとりひとりが台上に立ち、丸山学科長から手渡されます。この台の横にはスクリーンが設置され、入学時の写真が映し出されます。そして、卒業証書を受け取った卒業生から一言「が、あり、台を降り、台を降りた横には教員が並んでおり、全員と握手をしながら席へと戻って行きます。一言には、今までの思い出などが蘇り、涙でつまってしまう人もありました。卒業生二十〇名全員が卒業証書を受け取るまでには、一時

◆作業療法学科



作業療法学科八十九名のみならず、ご卒業おめでとう。小雨混じりで明けた平成三十三年度卒業式当日。午前中の卒業式典を終え、午後には学科ごとに卒業証書授与式が行われました。作業療法学科では、卒業生一人一人に杉原学科長より卒業証書が手渡され、一同に別れを惜しむ王維の詩が送られました。渭城朝雨潤輕塵、客舍青青柳色新。勸君更盡一杯酒、西出陽關無故人。親元を離れ初めて一人暮らしをした大田原の四年間、いかがでしたか。たくさん思い出と、多くの師や友との出会いをこれから大切にしていってください。四月からはみな一人ぼっちですが、みなさんの行動一つひとつに社会人としての責任が伴ってきます。恐れずに責任を持って、新たなそして着実な一歩を踏み出してください。ご卒業おめでとう。(澁井 実)

◆放射線・情報化学科



卒業式を終えた本学科卒業生はご家族の方々とともに、懇談会会場で食事をしながら、各教員と思ひ出話を交わしました。その後、場所を移して卒業証書伝達式が開かれ、学科長から一〇八名の卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。卒業生も感無量の面持ちで、卒業の喜びを実感していたようでした。学科長は式辞の中で、社会人としての人間関係の大切さを付言されました。また、栃木県

◆言語聴覚障害学科



言語聴覚障害学科の卒業証書伝達式では学科長から一人一人証書を手渡す形式で実施しています。証書を手渡す際、卒業生と握手をするのですが緊張している人や喜びが体全体から出ている人など卒業生の表情は様々でした。しかし、どの顔からもこれから生活に対する期待と決意がうかがえたように思います。大学での四年間で身につけた知識と育んできた人とのつながりをこれらの生活に大いに役立てて頑張ってくださいと思います。

◆医療経営管理学科



医療経営管理学科の卒業証書授与式で特徴的な事柄と言えは、ゼミナールの担当教員が氏名を呼び、卒業生一人ひとりが学科長の開原先生から手渡しで卒業証書を受け取られる際、ゼミごとの思い出深い写真をパワーポイントで映写したことです。同時に、ゼミのカラーごとに卒業ソング

◆医療福祉学科



医療福祉学科では、卒業式が終わった午後から、「医療福祉学科 卒業証書伝達式」を行います。まず、鈴木五郎学科長より、今年度の卒業生一〇九名一人ひとりに卒業証書が手渡されました。つづいて、学科長から卒業生へ祝辞があり、最大のチャンスであるということ、福祉のしごととは「非対称性のしごと」であること、努力なければ運はひけないこと、そして社会人は出会いと人間関係を大切にしなければならぬということなどが、二〇〇一年度卒業生つまり二十一世紀最初の卒業生たちに語りかけられました。次に、卒業生代表の金子こずえさんが謝辞を述べました。利用者・患者さんたちの本当の辛さや痛みを心へ傾けられるような人であり続けたい、そして焦らず自分らしいソーシャルワーク観を見つきたい、という決意が述べられました。

卒業生には、大学の卒業記念品のほか、四年生のときにそれぞれが一生懸命頑張った卒業論文の要旨集と、実習報告集が渡されました。伝達式が終わっても、多くの人が会場の教室に残り、互いに記念撮影をしたり、新しい連絡先などを交換したりしていました。こうして、医療福祉学科の第二期生が巣立っていきましました。第二期生の皆さん、社会人一年生として、新しい自分の場所で、健康に注意して元気に頑張ってください！(木多 勇)

平成14年度入学式

入学式式辞



皆さん、おはようございます。学長の谷でございます。よろしくお願ひいたします。

本日、国際医療福祉大学平成十四年度学部並びに大学院入学式を行うに当たり、栃木県知事代理として栃木県保健福祉部長 楊松龍治様、大田原市長 千保一夫様を初めとするご来賓の方々と並び、多数のご父兄の臨席をいただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

本日入学した学部学生は八九八名、大学院生が一二七名であります。本年もまたこのように多数の入学者を迎えることは、大学としても大きな喜びであります。

二十一世紀の初めの二十年は、高齢社会であると同時に若者の少ない社会でもあります。そのような中で、多くの皆様方が我が大学を選ばれ、保健医療福祉の専門職を目指されるという選択をされたことに、教職員を代表して皆様を心から歓迎し、御祝いを申し上げます。本当におめでとうございます。

また、今日の入学式の中には、留学生も含まれております。私も大学の政府の国際医療技術協力の一環として取り組んでおります中国北京市の中国リハビリテーションセンターから派遣された方並びにアフリカのケニアのナイロビにありますケニアメディカルトレーニングカレッジから派遣された方々も含め、学部、大学院合わせて十九名の留学生の皆さんを歓迎します。

まず本日、学部に入学者の新入生の皆さんに申し上げます。皆さんが日々指すそれぞれの専門分野は、「健康と福祉」が高い価値を持つこの時代の中で、今後とも成長が見込まれる領域であり、現在の社会の中で最も求められていることのひとつでもあります。これから四年間、自分が日々



指す専門科目についての知識や技術を習得することは必須であります。専門科目はもとより自分が興味を持つ事柄について勉強してください。大学は、教育はもとより、施設や設備、必要な情報の提供など、あらゆる機会を通じて皆さんの学習のための支援をいたします。同時に、人々と直接に接し、人の病気の意味や向きあう仕事ですから、豊かな人間性を養うという意味からも、自分の専門以外のことに幅広の教養を持つことも大切です。むしろ、そのことが皆さんの将来にとっては大事なこともかもしれません。

しかし、全ては、皆さん自身の意欲次第ということも忘れないでいただきたいと思ひます。大学というところは、決して、受験勉強に疲れた学生の保養地ではありません。大学は、学生自身が自らを律し、自ら考え、そして自ら学ぶところであります。

ところで、この国際医療福祉大学とは、どういう大学か、もとより皆さんはこの大学を選んで入学されたのでありますから、ある程度は承知しておられると思いますが、今日から、この大学の学生になられた皆さんに、自分の問題として考えていただくために、大学の特色について少し話しておきたいと思ひます。

まず、国際医療福祉大学は、医療や福祉の高度化に伴い、いわゆるコメディカルと呼ばれる医療や福祉の専門職の地位の向上と高度な教育、そして将来における優れた指導者が必要という時代の要請に応える大きな夢をもつて、八年前に開学致しました。一言でいえば、医療福祉を専門に学び、研究し、そして専門職を教育する大学であります。

具体的には、保健学部には、看護、理学療法、作業療法、言語聴覚障害、放射線・情報科学と今年新設しました視機能療法学科を加えた六学科が、そして医療福祉学部には、医療経営管理、医療福祉の二学科、合計八学科を同一キャンパス内に設置しております。

私たちの大学では、専門科目についてはそれぞれの専門科目で行いますが、教養や語学教育、基礎科目などは各学科の共通科目として教育しております。

また、本学の特徴として、大学のキャンパス内に、重症心身障害児と身体障害者のためのリハビリテーションセンターと大学クリニック及び言語聴覚センターを、また近隣の西那須野地区には、国際医療福祉病院、老人保健施設、特別養護老人ホームなどの施設を持ち、更に今年度の夏には静岡県熱海市にあります国立熱海病院を、医学部以外の大学としては初めてのものとなる本格的な大学付属病院として取得する予定であります。

このような医療福祉に関する幅広い関連施設を通じて、学生の皆さんの臨床実習の充実を目指すと同時に、教員の先生方にとっては、研究や臨床技術の研鑽の場となっております。



このように、国際医療福祉大学は、多くの関連臨床施設を持つ医療福祉の総合大学であり、学生の教育に關しては、八年前の開学以来、「人間中心の大学であること」、「社会に開かれた大学であること」、そして「国際性を旨とした大学であること」の三つの基本理念と、人格形成、専門性、学術性、情報科学などの教育及び大学運営に關する七つの目標を全ての学科に共通したものと掲げてきております。

また、学生の皆さんには、先生方の授業を受けるだけでなく、皆さんが受けた授業が良かったか、解りやすかったかなどについて、学生による授業の評価も行っております。更に今述べた基本理念の柱とも言うべき大切な理想が、開学以来昨年の秋まで学長を勤められた、大谷先生（総長）が言い続けてこられた「共に生きる社会」を築くということです。

「共に生きる社会」ということは、病める人も障害を持つ人も健康な人も、お互いの人間としての尊厳を認めあつて生きる社会です。それと同時に、医療や福祉の現場で患者さんや障害者の方に対して、最先端の知識や技術の応用という過程の中で、忘れていけないことは、人間の命の尊さ、あるいは人に対する思いやりということです。医療の技術が進歩し高度化すればするほど、人の心の暖かさが必要になります。

これからの勉学の日々において、専門技術や学問の基礎を身に付けるとともに、常に命の尊さを思い、生きる幸せを感じる心を養っていただきたいと思ひます。

そして四年後に卒業を果たされた後には、医療福祉の専門職として、日本国内はもとより、広く国際社会においても、思う存分に活躍されることを期待しております。

次に、この度、大学院に入学された皆さんにお祝いを申し上げます。

今年大学院に入学された方のうち、八割以上の方が、既に社会人として様々な分野で活躍されている方々です。私は三月に行われた大学院の学位授与式でも申し上げたことでありますが、皆さんのような大学院の学位を積んだ方が、改めて大学で学び、研究をするということが、いすれ我が国の大学教育の中で主流になるのではないかと、このように感じを持っております。また、学部の学生とは違った意味での意欲と向上心を持った方々を通じて、恐らくは、大学の教職員にも大きな刺激と力を与えていただくと、このように思ひます。

研究について一つだけ言わせていただければ、医療や福祉の分野では、自分が行っている学問や研究がいかなる影響を社会や、特に患者さんたちに与えるのかに十分注意する必要があります。ことを忘れないでいただきたいと思ひます。多くの方が社会人として、仕事と研究の両立を図るために苦勞をされることと思ひますが、所期のご健闘を達成されるよう皆様のご健闘をお祈りします。





分が日指す専門
分野以外のこと
に於いても幅広
い教養を身に付
けること、そし
て人間の命の尊
厳や人に対する
思いやりの持つ

りますので、ご臨席のご父兄の皆さまに一言
申し上げます。国際医療福祉大学は、学生の
ためにあってこそ将来にわたって発展すると
考えており、私たち教職員一同は、そのため
には、学生たちが入学前に期待していたこと
が満たされ達成できるかどうか、教育の内容
やそれを支援する体制が十分かどうかなど、
学生が満足するかどうか、大変重要なこと
であると考へております。しかし、このこと
は、決して若者におもねり、迎合するとい
うことを意味しません。医療福祉に関する専門
職としての教育の結果、国家試験合格率、就
職率とも、現在までのところ、他の大学に比
べより高い成績を収めてはおります。しかし、
一方において、留年する者や、退学者も毎年
少なからずいることも事実であり、これは、
教育する側にとつては、ある意味で、一種の
敗北であり申し訳ないことと思ひます。反
面、ほかの方面で、情熱と努力をそそげる目標が
見いだせたなら、ただ漫然と大学生活を漂
より新たな道を選ぶことのほうが、むしろ本
人のためと思う場合もあり、それはまた、止
むを得ないことであることも、ご理解いた
きたいと思ひます。

た医療福祉の専門職を目指してほしいと話
てまいりました。
その上で、皆さんは今日改めてこの大学に
来て、この大学の環境についてどのように感
じておられるでしょうか。都会にある大学と
比較して、周りに何もなくて物足りないと思
うか、雪を抱いた山々を見て、素晴らしい
環境だと思ふか、それは様々だと思います。こ
の大田原周辺には古い歴史や、都会にはない
優れた風物、四季折々の祭り、そしてなんと
いっても、皆さんを迎える地域の人の温か
い人情があります。
学生生活は大学での授業や勉強だけではあ
りません。友人との交流、好きなスポーツや
サークル活動、この大田原の地域の人々との
親睦、学内外でのボランティアへの参加など、
この時期に何か一つ打ち込めるものを見出す
ことは、学業以上に皆さんのこれからの人生
に立派な心配するよりも、それらを両立させる
ことの努力にこそ意義があると思ひます。
若い時代にはこれといった財産を築くこと
はできませんが、友情というかけがえのない
宝を沢山つくることはできます。最後に友情
について一つの言葉を紹介して、私の話を
終わりにしたいと思ひます。
それは、モハメド・アリというアメリカの
ボクサーの言葉です。彼は一九六〇年代から
七〇年代にかけて活躍して、世界ヘビー級
チャンピオンのタイトルを十九回も防衛し、
六年前のアトランタオリンピックの最終聖火
ランナーにもなったアメリカのヒーローの一
人です。
「友情というのは、学校で教わるものでは
ない。しかし、友情の意味を学んでいなければ
ない。何も学んだことにはならない」というも
のです。私は、今ここに並んでいる皆さんが、
四年後の卒業式
でも一人も欠け
るものがないよ
うにと心から
願っております。
これから四年
間を充実するよ
う、皆さんのご
健闘を期待し
て、私の歓迎の
挨拶とします。



国際医療福祉大学
視機能療学科並びに介護福祉士コース
開設記念祝賀会

ご両親、新入生 インタビュー



楽しく学生生活をすごせ
ばいいと思います。はじめて
の一人暮らしでちよつと緊張
しています。でもちよつと楽
しみます。
福祉について勉強をしてい
きたいです。サークルにも入
ろうと思つています。
大学四年間に期待すること
は、福祉について専門分野を
深く学ぶということです。
よい先生方がたくさんいる
ので、先生たちに勉強をよく
教わろうと思ひます。
専門分野を深めるだけでは
なく、教養も深めて、いろいろ
な人とかわつてゆけるよう
な作業療法士になりたいと思
ひます。
日本だけではなく、海外の
医療現場などにも行つてみた
いです。
やつと入った大学なんです
ごく嬉しかったです。国家試
験に向けて、早く社会に出て
働きたいと思つていたので大
学での勉強が楽しみです。
学生生活の中でいろいろな
ことに頑張つていきたいと思
ひます。
四年後の就職のことを考え
てこの大学に入ってきたので、
よい所に就職できるよう頑張
りたいと思つています。

ご両親



サークル活動に、また専門
的な勉強することに期待を
持っています。
きれいな環境にある大学な
ので、頑張つて勉強できると思
います。いい先生や友達に出会
えることを期待しています。
さまざまなことを学び、そし
てまた体験してこれからの社会
に貢献できるような人間になつ
てもらいたいと思つています。
一生懸命勉強して四年間過
ごしてもらいたいと思ひます。
大田原には遊びに来たこと
はあるのですが実際、自分の
子供が一人暮らしすることにつ
いては、非常に不安に思つてい
ます。
初めて大学に出すのですが、
教授の方々が立派な方がそ
ろつていたので安心しました。
親元から離れるので心配で
すが、今まで育ててきた中で、
今が一番将来に向かって羽ば
たいてゆくときなので、とて
も感慨深いです。
本人のやりたいことをやつて
もらえたいかなと思ひます。
最初は、入学式に参加する
つもりがなく新潟から来たので
すが、入学式に参加してよ
かつたと思ひます。
インタビューへのご協力
ありがとうございました。～

平成十三年卒業論文紹介

在日外国人のQOLと医療事情

看護学科 大山幸恵

地方自治体の住民に占める外国人の割合は全国でおよそ〇〇人に一人であり、都市部での比率はさらに高くなる。とくに一九八〇年代後半以降は東南アジア、南米からのニューカマーが急増している。しかしこれらの外国人の多くは保険に加入せず十分な診療を受けたり費用を支払うことは難しい。大きな問題としては高額な医療費と意思の疎通が図れないことがある。そこで具体的な対応策としては以下のことが重要であろう。一、保健医療に関する基本的理念を知り共生の認識をもつ。二、文化的・民族的・宗教的背景を尊重する。三、外国語による診療説明が可能な体制を作り意見を十分に聞くなどである。

栃木県の各市町村における精神障害者に対する市町村障害者計画の実際

作業療法学科 藤森憲子

障害者プランの実施が各市町村に委ねられていく中で、栃木県の場合、市町村障害者計画の策定状況がどのようかと、その中で精神障害への対応がどのような状況かを調査した。方法は県内四十九市町村障害者計画担当部署に訪問（四十四市町村）または電話（五市町村）にて聞き取り調査を実施した。（調査期間：二〇〇一年五月七日～七月三十一日）その結果、計画策定済みは十九市町村（三八・八％）、そのうち精神障害者対応記載は十五市町村（七八・九％）であった。しかし、精神障害者に対する数値目標記載が四市町村にとどまっていた。この時点で得られた結果は、全国的な状況と比べると遅れていることが明らかになったが、①規模の小さい町村部では人材面、資金面において策定が難しい、②毎年毎に職員異動があるため専門的知識を持つのが難しい、また担当者の表現では「介護保険対応で市町村は疲弊している」「精神障害者については施策が立てにくい」などの問題点を改めて確認された。

読み書き能力の発達に関する要因の解明に向けて

言語聴覚障害学科 金子祥子

日本における読み書き障害の原因究明に向けて、本研究では言語体系の違いによる読み書き障害の機序について明らかにするために英語圏で実施されている課題、例えば情報処理速度、語彙などと、日本語の特徴を測定すると考えられる課題、音韻意識を用いて読み書き能力とそれらの課題との関連性について調査しました。その結果、読み書き能力と本調査課題との間に有意に高い相関があることが明らかとなりました。

就職活動調査を実施して

理学療法学科四年 花岡真史・小林友美

本大学PT学科第三期卒業生九十一名の就職活動調査を実施しました。その結果、進路決定率は約七割が第一志望で、医療機関への就職（全体の七十二％）と大学院への進学（全体の十九％）に大別されました。就職群で重視された進路先選択条件は「専門分野」「所在地」「就職先PT人数」、進学群では「研究・学術活動」「福利厚生」「施設規模」でした。この調査より、今のところは安定した就職状況であることが分かりました。

医療情報システムにおける

ブロードバンド技術

放射線・情報科学科 鈴木一史

ADS Lによるインターネットは、映像などの高速伝送としての対称光ファイバー網を利用した情報システムへの過渡的な通信手段として、急展開しています。この技術は簡便な遠隔医療手段として有効だと考え、現状の利用状況、将来性について、主としてインターネットにより調査しました。医療面への適用は、他の分野に比べて遅れていますが、これまでの遠隔医療、在宅医療など医療福祉のビジネスモデルを変える有効な手段となると考えています。

日帰り手術が病院経営に与える影響に関する研究

医療経営管理学科 松本あゆみ

私は日本の医療機関は効率的な医療を提供すべき環境下にあるが、日帰り手術が多数の病院で推進されていらない要因について考え、そしてどうすれば日帰り手術が病院や患者さんに普及し、効率的な病院経営が実現できるのかを文献や実態調査を踏まえて研究しました。この論文を通して、日帰り手術を導入することによって効率的な病院経営ができるというわけではなく、患者さんのために患者さんの効率性を追及するのではなく、患者さんに日帰り手術を浸透させ、結果的に効率的な病院経営が生み出されるということが分かりました。

ADHD（注意欠陥多動性障害）児の社会的獲得を目指した援助の一研究

医療福祉学科四年 高橋菜美

ADHD児は、落ち着きのなさや衝動的行動などの障害特徴から集団に馴染めない、人と上手につきあえないなどの問題を抱えることがある。しかし、私の出会った七人の児童は本人間の馴染める方法、つまり社会的性を獲得することで以前より仲間に円滑に楽しめるように変化してきた。例えば、児童の仲間にする方法を一緒に考える。児童のありのままを受けとめ一緒に楽しむ。その時々児童の気持ちに添って適切な援助が大切である。そしてADHD児にとって社会的性を獲得することは、児童が生活をより楽しむために必要であり、さらにADHDが理解された環境を必要としている。

谷学長を団長とする中国研修旅行

3月25日から28日までの3泊4日で中国の中心地・北京・上海などの見学に行かせていただきました。谷学長をはじめ、丸山理学療法学科長以下教員4名、職員4名、大学院生1名、学部生6名の計18名でした。中国到着後「中日友好医院」を見学し、2日目は「中国康復研究中心(CHINA REHABILITATION RESEARCH CENTER)」の説明と見学、午後から首都医科大学、3日目は北京大学の見学をしました。中国康復研究中心では、主任（センター長）をはじめ多くの方々に歓迎していただき、各訓練室などの施設内を見学させていただきました。また、万里の長城や故宮の観光もしました。JICAの仕事で中国出張中の理学療法学科藤沢先生や作業療法学科の丹羽先生もお元気で、仕事場も見せていただきました。かなりハードスケジュールではありましたが、毎日違った種類の中華料理を食べ、中国の医療や文化に触れ、充実した旅行となりました。中国康復研究中心からは留学生が、夏には海外ボランティアとして本学の学生が2週間お世話になるなど関わりの深い国であり施設です。今後、さらに交流が深まることと思います。私個人も、もっと文化や言葉を勉強して中国への理解を深めたいと感じました。

（理学療法学科 西條富美代）

同窓会「マロニエ会」より

同窓会「マロニエ会」は、会員相互の親睦を図ると共に医療福祉の向上に努め、母校の発展に寄与する事業を行っていくことを目指しています。本会は卒業してからではなく、在学中から準会員として入会していただき、マロニエ会主催行事、各学科会活動、支部会活動等、様々な事業活動に参加できるようになっています。

第四期生の学科代議員も交え平成十四年度の事業計画についても大方向が決まり、前年度に引き続き学科会・支部会活動の支援を重点に、今年度からの新事業も展開していきたいと考えております。

同窓会「マロニエ会」会長

鈴木康文（理学療法学科卒業 第一期生）

〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1
国際医療福祉大学同窓会「マロニエ会」事務所
TEL 0287-24-3003/FAX 0287-24-3140
e-mail office@maronie.iuhw.ac.jp
http://www.maronie.iuhw.ac.jp

大学院生の研究とライフスタイル

〈医療福祉学研究科保健医療学専攻〉

▼大学院での生活を紹介します

作業療法学分野 博士前期二年 高橋幸加



講義は柳川、福岡、東京、大田原を結ぶサテライトで行っています。テレビ画面でしか会えない院生もいて、少し寂しい気はしますが、様々な地域にいる様々な職種との院生と一緒に授業ができ、大変勉強になります。私は、学部からそのまま進学したため、臨床経験が少なく、知らないことがいっぱいあるので、毎日学ぶことが山ほどあります。

私は現在「普通教育における教員と保健医療専門職との連携」というテーマで修士論文に取り組んでいます。公立小学校の教員に保健医療専門職との連携について調査を行い、障害を持つ児童の義務教育における教育と医療の連携システムを検討することが目的です。自分の興味のあるテーマについて指導教員や先輩と納得のいくまで討論し、学ぶことができて環境はとても貴重だと思います。

さて、毎日大学院にいるわけではありません。学部の実習補助をしたり、それから老人保健施設で非常勤OTとして働いています。戸惑うことも多いのですが、先生方やスタッフの方々に助けられ、楽しく仕事をしています。四月からは二年生。修論が納得の行く形で提出できるよう、更にがんばります！

▼楽しい学生生活を送っています

看護学分野 博士前期二年 後藤博子



長い公務員時代も定年を迎え、生涯教育に選んだのが、当大学院の医療福祉学科看護管理教育学でした。

私のような頭脳では、とても困難な学問ですが、一生懸命に各教授方の講義をお聞きして、参考書を何冊か読み、つたないレポート提出しました。保健婦としての経験が生かされ、研究に取り組んでいます。健康教室で生活習慣の良い継続を実行して貰う様に保健指導をしています。

二学期からは、往復六時間の柳川サテライトで受講しています。子育ても終え、看護職、家庭、学業の三足のわらじを楽しんでいます。四ヶ月過ぎた大田原のキャンパスが懐かしく思い出され、再度行きたいです。

▼福祉援助工学分野で学んで

福祉援助工学分野 博士前期二年 坂井一浩



義肢装具士の資格を得てから教育と臨床に併行して従事し十余年が経ち、自身のブラッシュアップの必要性を感じていたところ、本分野の開講の話を聞き受けるに至りました。義肢や装具を含め、福祉用具は機能的な障害をもつた方々に広く役立つところもあって、個々の障害に對しどのような機能をもつたものが適当なのか、まだまだ客観的なデータが得られていない現状があります。本学での修士論文のテーマとしては、脳卒中後の半身麻痺に對して足関節の動きを補助する器具が、特に坂道の歩行でどのような機能をもちべきなのかを、計測器を用いて得られた客観的なデータから考察するものです。幸いなことに、本分野の教授は何れもこの分野で多くの実績を残されている方ばかりで、特に、担当の山本澄子教授は、片麻痺者の装具についての権威として装具の開発にも従事されていることから、多くの有意義なアドバイスをいただいています。幸いにも、大田原のキャンパスに三次元計測装置が設置され、先だっては被験者さんの協力を得てデータを収集することが出来ました。今後多くの方々のご協力を得ながら、さらに研究を進めて行きたいと思っています。

▼一年間を振り返って

理学療法学分野 博士後期二年 鈴木康文



この大学に戻ってきた（本学理学療法学科の一期生でした）、はや一年が経過しました。U・H・Wの原稿依頼を受けて、この一年を振り返るいい機会を頂いたのについて述べたいと思います。

自分の所属する医療福祉学研究科保健医療学専攻理学療法学分野（博士課程）は学生全員が別に仕事をもち、自分もその例外ではなく、現在、茨城県内の介護老人保健施設に勤務しています。施設ではリハビリテーション業務だけでなくマネージメント業務まで行っている中で一杯といった感じですが、仕事に対する視野は広がりました。勤務地が遠方にあるために頻繁に大学に足を運ぶといったことが出来ませんが、火曜日から水曜日はゼミ活動と授業のために大学にきています。

研究内容は修士に引き続き、主にレジスタンス運動の方法と安全性についてであり、現実に役立たせ得る研究を行っていきたくと考えています。また、昨年の研究業績は学会発表のみだったので、本年度は論文の執筆にも力を入れていきたいと思っています。

〈医療福祉学研究科 医療福祉経営専攻〉

▼仕事をやりきって授業に

駆けつけるほうが充実感がある

経営福祉共通分野 修士二年 渡部新太郎



医学書の専門出版社に勤務し、現在は医学書の専門出版社の経営と主に雑誌の編集と書籍の企画・編集業務を行っています。永年医療関連の世界にいらつて、介護保険制度、医療費抑制、医療制度改革など、病院や診療所の経営環境を取り巻くさまざまな問題については、知りえていなかった自分を反省し、仕事をしながら医療福祉経営の専門教科が学べる本学大学院進学を決めました。

講義は東京サテライトオフィスでほとんどが行われ、大田原や福岡、柳川の受講者は衛星で映像と相互音声で授業を受けるというものです。事務所のある文京区本郷から東京サテライトオフィスの青山一丁目までは、地下鉄丸の内線、銀座線、有楽町線、約四十分かかりますが、授業は仕事をもち社会人のためを配慮し、主要教科の授業は、夕方午後六時、または少し早いのですが午後四時二十分からは多いので、二年間の短期決戦では、多少きつても両立はできると思いました。しかし現実には出張や仕事を立て込んできたりすると、授業に出席できないことも度々ありましたが、できるだけ仕事をやりきって授業に駆けつけるほうが充実感があります。授業では、書物だけでなく、医療法人の理事長や事務長さんに生きた講義をしていただき、講義終了後の講師を開いた食事会がとても楽しく有意義な時間です。

指導教授は高橋淑郎先生で、院生の吉田二美子さんと三人で経営や医療経営の基本的な手ほどきを受け、院生側も社会人としてそれぞれの立場で蓄積した情報を提供しながら、シナジー効果があり、とても充実したゼミです。私の研究テーマは「患者の心理面を配慮した病診連携の一考察」住民健診で発見された糖尿病患者のQOL調査をもとに、というもので、今回山形大学医学部と山形県形町町の協力を得て、日本における糖尿病患者数の算出のベース研究として国際的に認められている疫学研究、いわゆる「形町コホート研究」で一九九五～一九九七年の健診で発見された患者さんに疫学研究のフォローアップも兼ねて患者さんのその後の受診行動の調査および患者さん立脚型健康関連度調査PAIDの二つのアンケート調査を行っています。昨年十月にフォローアップの精査・検診が行われました。昨年十月に院生に手伝っていた患者さんからアンケートの回収をし、貴重な体験をさせていただきました。今後参考図書および資料、またインターネットを使って資料をさらに集めなければならぬのですが、春先から夏にかけて出張が多く、作業がなかなか進まないのが悩みです。

☆大学院だより

四月にはまた新たなメンバーを迎えます。保健医療学専攻博士前期課程では六分野九十余名、同分野博士後期課程では五分野二十余名、そして医療福祉経営専攻修士課程では二分野二十余名が新たに入学してくる予定です。

☆看護学科

国家試験の合格を祈願して
一・二年生の後期試験と三年生の臨床実習
が終了する頃、四年生は国家試験受験を迎え
る。今年は二月二十一日が保健師、翌日二十
二日が助産師、二月二十四日が看護師である。
看護学科は開学以来学生主体の学習体制を貫
き、学科が中心になった対策を実施していな
い。これまでの合格率は高水準を保っている
が、この時期になると学生共々これではよかつ
たのかと不安をおぼえるのである。八回目に
あたる最後の模擬試験の日に、担当教員から、
湯島大神の合格祈願鉛筆がプレゼントされ、
緊張した教室が一瞬ぬくもりに包まれた。三
月二十九日の合格発表には一二五名全員が合
格を果たしますように。
(渡辺孝子)

☆理学療法学科

二十一世紀もあつという間に二年目に突入し、気分一新、明るい年度を迎えられればと思います。近々、サッカーのワールドカップはあるし、大リーグでの日本人選手の活躍は

楽しみだし、イベン・スポーツ好きな理療法学科は、またまた忙しい年度になりそうです。教育に「ゆとり」が求められる昨年、学ぶことは多く、安穩とその「ゆとり」が許容されないのも周知のことです。さあ四月、新入生も迎え、せめて心だけは暖かくなるような教育を意識しながら共に生活することを今年度の目標に・・・

（久保 晃）

☆作業療法学科

平成十三年度の最後といえる大イベント！、三月三日に国家試験が、三月十五日に卒業式が無事終わりました。

暖冬の影響で花の便りが例年より早く届きました。花の訪れとともに新しい年度が始まります。それぞれの気持ちに新たな一年、この一年間が充実した学生生活となるよう頑張つて下さい。特に三年生四年生は、臨床実習で協力して下さい。少しでも迷惑がからぬよう、死にももの狂いで基礎知識の充実をはかつて下さい。

(久保田清子)

☆言語聴覚障害学科

「雲外蒼天」でありますように
四期生のみなさんご卒業おめでとうござい
ます。しかし、ASTMの国家試験が三月二十
四日実施であつたために、引越し、就職先で
の研修、国家試験の二本立てで、大忙しでし
たね。おつかれさまでした。

さて、タイトルの「雲外」

うべきことばです。意味は、大困難を克服すれば、快晴を望むことができる、とのことですね。ようやく診療報酬も四月から改定され、今後言語聴覚士の活躍の場が増えることが予想されます。新入生の皆さん、在校生の皆さん今年度も一緒にがんばっていきましょう。

☆放射線・情報化学科

井原廣一先生、都築正和先生、山崎統四郎先生がご退職
本学科で教鞭をとられた三名の先生方が定年
で退職なさいました。井原先生は情報・シ
ステム関係のご専門で授業のほかにもプロ
ジェクトで中国との学術交流に貢献されまし
た。都築先生は開学時から本学科立ち上げに
ご尽力いたいただき多くの講義をされたまし
た。山崎先生は核医学のご専門ですがケニアのメ
ディカル・トレーニング・カレッジで一回（二
年間）にわたって診療放射線技師の指導者の教
育に当たられました。

それぞれ新しいお仕事で活躍の予定ですが、今後とも本学科をご支援いただきますようお願いする次第です。先生方のご健康とますますのご活躍を祈念いたします。（飯沼一浩）

☆医療経営管理学科

大学の外での活動
今回は、学科と関連ある外の活動を少し紹介してみましょ。第一は、国際医療福祉病院で、今年の二月一日の開院にあつて学生たちが大きな貢献をしました。まず、リハビリの時に模擬患者になつて患者の流れのテストをし、開院の日にはボランティアとして患者の案内や事務の手伝いに活躍しました。学生たちはこの貴重な経験を将来必ず活かす機会があると思います。第二は、東京で行なわれている離職者に対する三ヶ月にわたる講習会です。これは、さまざまな事情から職を失つた人たちが再就職できるために国がおこなっている事業です。今年からは、大学も協力することになり、本学は、医療福祉マネージメントコースを開いて受講生を受け入れることになりました。三月から二十二人の受講生が東京の大学院の施設を借りて学んでいます。こうした人たちがまた社会に巣立っていくことを願っています。
(開原成允)

☆医療福祉学科

先輩たちの実績を励みに
三月二十八日、平成十三年度の社会福祉士・精神保健福祉士国家試験結果が発表されました。医療福祉学科二期生は、一期生に引き続きして両資格とも全国平均をはるかに上回る合格率でした。こうした一・二期生の努力は、後輩たちにとつて大きな励みとなることとしましょう。更に今後は現場で実践力を養い、福祉専門職としての活躍を心より祈ります。四月になり、学科は介護福祉コースを加え新たなスタートを切ります。学生数も増え、そのバウに圧倒されそうですが、新たに四名の先生方が着任され、頼もしさもいっぱい。新学期の準備万端です。
(岩本 操)

☆健康管理センター―

腹部不定愁訴
種々の身体症状を訴えるにも拘らずこれらに見合った明確な病変や病気の裏付けがない場合、これらの愁訴は不定愁訴と呼ばれます。不定愁訴であるとするためには裏付けの病変や病気がないことを確認しなければならぬので、いろいろな検査が必要です。不定愁訴は

たつた一つだけということは少なく、またしばしば身体のいくつかの系統の愁訴を合併します。腹部不定愁訴(腹痛、腹部膨満感、胃もたれ、げっぷ、便秘異常、食欲不振など)の患者さんに対しては、神経性胃炎、胃腸神経症、慢性胃炎、過敏性腸症候群などの病名がつけられますが、最近では「機能性胃腸障害」といふ言葉でまとめられています。機能性胃腸障害の発現には、ストレスなどによる精神的要因が大きく関与していると考えられています。(谷 禮大)

☆情報教育センター―

情報処理演習室のパソコン (NEC MateN1 MAT6C、Pentium 66MHz、メモリー 32MB、ディスク 2、1GB) は設置以来数年を経過し、ハード・ソフトとも使用限界に近づいていました。今回文部科学省の情報機器の助成が認められましたので、新機種 (FMV-6000CL) に代替を行いました。OS は Windows 2000 でアプリケーションソフトは OfficeXP Professional を導入しました。旧機種では OS が Windows 95 でアプリケーションソフトが Office97 Personal Edition であったことから十分な情報リテラシー教育ができませんでした。また、新年度からは対応が可能となりました。Office97 Personal Edition では ACCESS が利用できず利用者には不便をかけていました。OfficeXP Professional では利用可能となっています。(樺澤一之)

☆語学教育センター

新入生のみならず、入学おめでとうございます。

最近、異文化コミュニケーションという言葉が流行をよく聞きます。母なる地球にはいろいろな国があり、異なる文化を持つ人々が生活していますが、互いに尊重しあい、平和で本学の理念でもある「共に生きる社会」を築くために、異なる文化の理解が必要です。そのためには、もともと基本となる技術、あるいは道具が「言語」です。語学教育センターでは、必修の英語、選択のドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、留学生のための日本語と、諸科目を開講しています。好きな語学を見つけ、それを通して歴史や文化を知り、教養の幅を広げたり、論理性を磨いて下さい。将来、グローバルな視野を持つ保健・福祉のエキスパートとして活躍できるよう、第一歩を踏み出して下さい。教員はみなさんからの積極的なアプローチを待っています。

(田中美子)

「ことばと食べる機能の障害セミナー」開催される
二月十六日(土)に、百七十二名という予想をはるかに上回る参加者のもと、当センター主催「ことばと食べる機能の障害セミナー」が開催されました。

「脚音」によることは、障害（摂食・嚥下障害）についての講演が行われ、それぞれの障害についての知識と、障害を持つ方への具体的な対応について、理解を深めていた。次から、

当日は、県内全域から、看護師、介護福祉士、介護職、ホームヘルパー、ケアマネージャーなど多職種にわたっての参加が見られました。質疑応答では活発な意見交換が行われ、この種のセミナーに対するニーズの高さが伺われます。当センターでは、参加者のニーズに応え今後も定期的なセミナーを開催を予定しております。

（廣瀬忠美）

がんは遺伝するのか？

学生から講義の節目で受ける。幾つかある質問の一つです。私達の体を作っている細胞の中にある「がん遺伝子（増殖遺伝子）」が、なんらかの故障を起して、細胞を増殖し続けてしまうことで「がん」になるのだから、「がん」は遺伝するのかもしれない疑問は確かにあります。胃癌を例に取ると、日本では東高西低の傾向があります。これは東日本の人の方が食塩の摂取量が多く、食事を含んだ環境が「がん」の発生に影響を与えていると言う人がいます。タバコを吸うと肺癌になり易くなるというわかれるが、喫煙者全部が「がん」になるわけではないでしょう。これは体質に関連ありと、アメリカのシンシナティ大の研究者は言っています。ある特定のDNAを持った人だけの、体内で作る特殊なタンパクが、タバコにある有害物質とともに作用する。この結果肺癌が発症することを明らかにしました。裏返しに考えると、この特定の人を持つDNAは遺伝します。「がん」になりやすいという「体質」は遺伝するのでしょうか。（嶋田裕之）

☆紀要委員会

第十回紀要委員会を一月二十三日(水)、第十一回を二月二十日(水)、そして第十二回を二月二十日(水)に開催して平成十三年度論文委員会の活動を終了しました。今回は投稿論文の変更についての注意事項を記述します。著者は投稿後にあつては自分の論文といえども勝手に著者名を変更することは許されません。複数の著者からなる連名の論文では著者名として扱順序変更も許されません。別の論文として扱うことになりません。共同研究ではしばしば複数の論文を分担執筆することがあるからです。論文題名の変更も別の論文として扱うことになりません。これらの変更には編集委員会の許可および承認が必要です。

(野原功全)

☆臨床教育小委員会

①実習環境を整えることが重要である。それに

ト、物理的・人為的環境は勿論のこと、精神的・社会的環境も、双方では大学と臨床との連携が重要です。また、臨床ではコミュニケーションを密にしなければなりません。臨床を学習の場としているが、潜在意識では「場を借りている」「場を貸している」という思いがあり、そのことが実習の環境を損んでいるとも考えられます。

②十四年度大学関連医療機関との調整開始。国際医療福祉病院は二〇〇二年六月（正式オープン） 表にも新たに生まれ変わります。実習教育の更なる充実を図るため、四年度の実習計画表を基に調整の段階です。

③国立熱海病院が本大学附属病院（仮称）として継承されます。本学における実習教育の中核施設として、恵まれた施設であり、今から実習が楽しみです。

（齋藤忠子）

☆情報化委員会報告日

文部科学省の情報機器の助成が認められ
たので、情報処理演習室のパソコンの代
替を行いました。機種と性能は、FMV-
600C CPU: Celeron™ 900MHz、メモ
リ: 128MB HDD: 40GB CD-Rom: Windows 2000
Professional OfficeXP Professional とな
ります。

同時に一部教員研究室のパソコンの交換を平成十四年三月二十五日(月)より平成十四年四月五日(金)の期間でおこなっています。また、S-L教室を二つに分割し七十台のパソコン設置の教室と三十台のパソコン設置の教室としました。三十台の方は新たに導入したパソコンを設置しており、少人数の情報教育に対応できるように考慮しました。七十台の方には情報コンセントを設置しています。

☆就職委員会

新年度が始まりましたが、文系学生対象の説明会が始まり、早い企業では選考が始まっています。しかし就職情報に踊らされることなく、自分はどうしたいのかを再確認しましょう。また、いつ選考が行われても慌てないように就職情報誌、筆記試験対策本を参考にしながら準備万端にしましょう。

☆ボランティア委員会

保健学部の4年生は、まず大学授業や実習に取り組み、実力をつけ足元を固めてから、行動しましょう。求人数は多い傾向にあります。ですが、学科によって多少増減がありますので、不安がある場合には就職担当教員に相談してみましよう。

(就職委員会)

☆教務委員会

リハビリセンターのボランティア募集
大学内にあるリハビリ施設のボランティアを募集しています。今年も一年生に呼びかけることになり、各学科のガイダンスの時に説明することになりました。

また、四月下旬には、ボランティア委員会とボランティアサークル、リハビリセンターとボランティアサーブを開催する計画です。

十四年度も大田原ボランティアの集いを開催するため実行委員会がスタートしました。本学のボランティア委員会も実行委員として企画に参加しています。

(鈴木五郎)

平成十三年度教員研修会

平成十四年度教員研修会が開催された。八十人以上の専任教員の出席を得て午前中の谷学長による基調講演「大学に求て感じたこと」での大所高所からの提言を皮切りに、午後に杉原保雄所長、開原医療福祉学部長と両学部長を座長として「学力・教養の低下と各学科・センターにおける教育」の演題で放射線情報科学科長、医療経営管理学科長、基

礎医学研究センター長、語学教育センター長、情報教育センターの五人のシンポジストによる講演、質疑応答が行われた。学力、教養の定義から始まり現状の認識、対応等について一時間以上に渡る活発な討論がなされ今後の授業改善に対する各学科・センターの教員間で情報交換の行われた有意義な一日であった。

(田之下司)

☆国際部・国際交流委員会

- 一、JICAケニア医療技術教育強化プロジェクトのリーダー・長谷川豊教授とコーディネーター・Ms. Kinethにより、国際協力を考えるというテーマで、英語による国際特別セミナーが一月八日六時限に行われ、学長、教員、国際活動に関心のある学生約二十名が参加しました。大変有意義なセミナーでした。
- 二、三十三年度国際保健協力フィールドワークフェロロシップ国内・海外研修参加学生の「報告書」を関係各位に配布しました。
- 三、平成十四年度夏期海外研修・ボランティア活動実施に向準備を始めました。科目のオリエンテーションを四月十日(水) 十五時から統一〇一で行います。
- 四、山崎統四郎国際部長が一月で退職され、有志で送別会をしました。
- 五、研究委託費による「開発途上国大都市の公衆衛生対策のための国際保健協力の実施方策」に関する研究の研究会議が一月七・九・日本学で開催され、山崎統四郎・長谷川豊教授と、ベトナムのDr. Khoa, Mr. Chanh、ケニアから Ms. Kineth の二人の研究協力者が参加しました。
- 六、JICA研修員 Ms. Karuki は、約2ヶ月の本学での研修を修了しました。
- 七、JICA長期研修員として大学院修士課程(理学療法分野) に入学予定の Mr. Kangetu (ケニア) の面接が一月三十日行われました。
- 八、JICAケニアプロジェクトの短期派遣専門家として細井良三教授が二月二十三月十六日ケニアKMTTCに出張しました。
- 九、JICA・カンボディア国医療従事者養成学校プロジェクトの基礎調査のため、金場敏憲・斎藤昭彦先生が一月十三・二十三日カンボディアへ出張しました。
- 十、JICA青年海外協力隊員(診療放射線技師)として、大田原の後藤飛鳥氏がベトナムに出発することになり、三月二十九日交流委員と懇談会を持ちました。

(田中美子)

★平成14年度学年暦

4/ 8(月)	入学式
4/ 9(火)	オリエンテーション期間
4/10(水)	
4/11(木)	
4/12(金)	前期授業開始
5/ 1(水)	大学創立記念日 (終日休講)
6/ 1(土)	体育祭
6/ 3(月)	前期前半終了
7/17(水)	前期授業終了
7/18(木)	前期試験開始 (7日間)
7/26(金)	前期試験終了
7/27(土)	大学説明会 (予定)
7/29(月)	夏期休暇開始
7/31(水)	大学説明会 (予定)
8/31(土)	大学説明会 (予定)
9/ 2(月)	実習・補講期間開始
9/27(金)	夏期休暇終了、実習・補講期間終了
9/30(月)	後期授業開始
10/18(金)	大学祭期間(終日休講)
10/19(土)	
10/20(日)	
10/21(月)	
11/15(金)	後期前半終了 (火～金) (注1)
11/25(月)	月曜授業後期前半終了 (注2)
12/20(金)	年内授業終了
12/24(火)	冬期休暇開始
1/ 3(金)	冬期休暇終了
1/ 6(月)	授業開始
1/17(金)	午後休講 (センター入試前日)
1/21(火)	後期授業終了 (注3)
1/22(水)	後期試験開始 (7日間)
1/30(木)	後期試験終了
2/ 3(月)	実習・補講期間開始
2/28(金)	実習・補講期間終了
3/ 3(月)	春期休暇開始
3/14(金)	卒業式

注1 後期は授業回数数のバランスを図るため、火曜日から金曜日までの授業を十一月十五日(金)で後期前半終了とする。
注2 月曜日の授業のみ十一月十五日(月)で後期前半終了とする。
注3 十一月十四日(火)は月曜日の授業回数不足を補うため月曜日の授業を行う。従って火曜日の授業は十一月十四日で終了。

イブニングタイム公開講座、開講

国際医療福祉大学では、毎年恒例となりました地域の
の方々を対象とする「イブニングタイム公開講座」を開講いた
します。今年度は次の内容で実施いたします。どなたでも
聴講できますので奮ってご参加下さい。

テーマ：病院探検……賢い患者になるために
期 日：平成14年5月13日～7月8日(6/3は除く)
毎週月曜日、午後6時～7時開講

会 場：国際医療福祉大学 大講義室(F101)
受講料：1回500円、全8回3,000円(事前登録)

- 第1回 <5月13日(月)>
「病院を知ろう！賢い患者になるために」
高橋 淑郎(国際医療福祉大学医療福祉学部教授)
- 第2回 <5月20日(月)>
「患者に役立つ患者友の会の現状と方向」
廣田 孝一(ファイザー製薬広報部長)
- 第3回 <5月27日(月)>
「患者に分かる病気と薬」
木村 隆次(日本薬剤師会常務理事)
- 第4回 <6月10日(月)>
「患者満足度日本一の病院から患者様へ」
須藤 秀一(医療法人財団献心会
川越胃腸病院常務理事)
- 第5回 <6月17日(月)>
「患者のための病院安全学」
橋本 勉生(横浜市立大学医学部教授)
- 第6回 <6月24日(月)>
「患者にとって良い医師とは？」
佐藤 郁夫(国際医療福祉病院院長)
- 第7回 <7月 1日(月)>
「患者のための上手な介護保険の利用方法」
高橋 泰(国際医療福祉大学医療福祉学部教授)
- 第8回 <7月 8日(月)>
「患者中心の医療とIT」
開原 成允(国際医療福祉大学副学長)

☆申込方法：各回ごとに申込受付をいたします。
詳しくは大学ホームページをご覧ください。

☆問い合わせ・申込先
〒324-8501 大田原市北金丸2600-1
国際医療福祉大学 事務局 総務課
電話:0287-24-3000 FAX:0287-24-3100
URL: <http://www.iuhw.ac.jp>

入試課より

平成14年度入試の結果は下記の通りとなりましたので報
告します。

学生相談室

四月、新緑のキャンパスは多くの新入生
諸君を迎え、より輝いているようです。
新入生の皆さんは、この四年間、医療・
福祉の専門家となるべく勉学に励むことにな
るわけです。是非広い視野を持った、人
の気持ちのわかる専門家になってもらいた
いと思います。

『世界がもし一〇〇人の村だったら』(マ
ガジンハウス)もう読まれた方も多いこと
でしょう。この小さな一冊は、特に去年の
同時多発テロ以降の我々に地球市民として
視点を明確に見せてくれました。その一方
で私たちは、小さな家族の一員であつた
り、悩みの多い一人であること、一人の学
生であり、かけがえのない一人であること
を、実体として感じています。

メディアを通して頭で理解している世界と、身近な実感で
世界をつないでいるのは想像力です。その想像力こそ、私
たちが自身が育てるべき、可能性の源です。

大学という学びの場だけでなく、クラブやボランティア活
動を通して、多くの人と出会ったり、専門以外の様々な
出会いも世界を広げ、想像力を育ててくれることでは
しょう。

さて、大学教育の恩恵を受けているのは「一〇〇人の村」では
何人でしょうか？答えは、本の中に。(言語聴覚障害学科 畦上恭彦)

場所 1.棟1階
開室日時 月・水・金曜日 10:00～17:00
相談申込み・問い合わせは
直接来室または
相談室TEL 0287-24-3099 まで
～お気軽にご利用ください～

学生課より

新入生の皆さんへ
学生課は1棟(大学院棟)一
階にあり、学割(学校学生生
徒旅券運賃割引証/JRの
み)、推薦書等の発行、奨学
金、学生団体対応、事故対
応、様々な行事の掲示、就
職、進路情報等を扱ってい
ます。

大学は高校までとは異な
り、学生への連絡・呼び出
しをすべて掲示で行います。
棟内1.1教室前の掲示板及び
棟内に掲示してください。特
にF棟前掲示板には重要な
掲示が多数ありますので毎
日確認してください。

リレーエッセイ

ー地域グループー



医療福祉学科 岩本 操

生まれ育った神奈川県から、初めて県外進出でここ栃木に来て早2年。まさに右も左も分からぬ毎日の中で、那須地域在住の人々が集まるグループ活動に参加し、魅力的な方々と交流する機会に恵まれるようになった。グループの立ち上げは約1年前。黒羽に住む方の「グループリビングを作りたい」という言葉に端を発し、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」のために皆で知恵を出し合い活動してみようとスタートした。メンバーの職業は建築家・施設職員・農業や染色の専門家・NPO代表者・演劇家・教員など多岐に渡っているが、共通の視点は日常生活の中から生まれる「～したい」「～してみよう」という発想である。これまでもミーティングや障害児を招いてのイベントを開催してきており、日下のテーマは「地域通貨」と「学校週休2日制に対する地域の取組み」である。生活実感から生まれる知恵と活動はエネルギーで互いを生かし合う力を持っている。そんな中で私自身も多くのパワーと癒しを得、この地で生活していることをしみじみ実感できるようになっている。

次回執筆者：本多 勇（医療福祉学科）

私の研究ノート

ー良き先生と良き職場に恵まれてー



理学療法学科 秋山純和

高知リハ学院では故萩島先生から臨床・教育・研究の3つを生涯続ける事の大切さを、生物学吉村先生（現高知学園短期大学学長）から研究は積み上げられた煉瓦の一角だと教えられた。卒業後板橋ナーシングホームへ勤務したが、研究所のような所であった。午前診療、午後は運動生理に関する実験が常であった。先輩丸山先生は朝早く出勤し、夜も遅く迄職場に残り常に勉強されており、PTはこれ程勉強するものかと感心した。丸山先生は老人総合研究所徳田先生と共同研究をしており私も中山先生とともに研究を手伝った。次の職場は結核研究所附属病院で施設名通り研究が当たり前の所であった。藤原先生の指導下で呼吸器障害者の運動負荷、糖尿病患者の運動療法について前職場での研究を応用する事ができた。基礎研究の大切さを知ることができた。また、在職中Kaiser病院で神経筋促進法（PNF）の研修を受ける事ができた。次の職場でも運よく研修の機会を得て心肺機能障害を Rancho Los Amigos Medical Center で Greenwood 先生（PT）から学ぶ事ができた。このような経験から呼吸器系・代謝系・急性期PT・PNF等の授業を担当し、研究は授業に関係した事を心掛けている。学生とともに学び、研究できる事は楽しいが、反面直接に役立つ研究の難しさを感じる。

今後は脳血管障害に関する研究ができればとの思いがある。IUHW勤務前後から獨協医科大学研究生となり山岡教授の御指導で今年学位を得る事ができた。明確に述べる事の大切を教えてください。振り返る度に良き先生と良き職場に恵まれた。改めて中屋先生、萩島先生、吉村先生、丸山先生、藤原先生、高木理事長、山岡先生に感謝する次第である。

IUHWクイズ～第30弾～当選者発表

前回のクイズはいかがだったでしょうか。皆さん、辞書を片手に挑戦していたことと思います。解答は右記の通りです。自分の書いた答えとよく照らし合わせてみてはいかがでしょうか？

さて、それでは当選者の発表です。旅行ギフト券を獲得できる幸運な方は・・・看護学科2年生、佐伯忠寛さんに決定いたしました。おめでとうございます。

学生証持参の上、1棟学生課窓1までお越しください。

解答

1. 烏白馬角
2. 千軍万馬
3. 馬耳東風
4. 牛飲馬食
5. 竹馬之友
6. 南船北馬

教員紹介

①所属・職位②生年③出身校④専門分野⑤直前の勤め先
⑥主要著書または論文⑦本校における担当科目⑧趣味

柳屋道子（やなぎや みちこ）

- ①看護学科・助教授
- ②8月25日
- ③東洋大学大学院社会学研究科
- ④成人・老人看護
- ⑤淑徳短期大学
- ⑥難病者の療養生活の現状と課題
（淑徳短期大学紀要、第38号、1999）
- ⑦看護方法論、高齢者対象特性方法論
保健医療福祉チーム活動など
- ⑧(昔)テニス・スキー・野外活動など（現在）ベランダ菜園



石井博之（いしい ひろゆき）

- ①理学療法学科 助手
- ②昭和42年5月16日
- ③国立療養所東京病院付属
リハビリテーション学院
- ④リハビリテーション分野の国際協力
- ⑤JICAマラウイ事務所
- ⑥マレーシア国・サラワク州
におけるリハビリテーション
- ⑦義肢・装具学
- ⑧ウインドサーフィン、スノーボード



「私が感銘を受けた本」 （第16回）



紹介者：基礎医学研究センター 都築正和
書名：「脳外科の父、

ハーヴェイ・クッシング」

著者：Elizabeth H. Thomson

訳者：岡村和子、塩月正雄

出版社：東京メディカルセンター

脳外科の父と呼ばれる有名なハーヴェイ・クッシングは1895年ハーヴァード大学医学部を卒業、ジョンズホプキンス大学病院で、有名なW. ホールステッドの下で外科医の修練に励んだ。その後ハーヴァード大学外科教授となり、ピーターセント・プリガム病院で外科診療に従事し脳外科を創始した。1933年死去。「クッシング病」はその名を不滅のものとしている。彼は卓越した外科医であったが同時に病める人の人格を尊重し優しく接する人格医とも云える医師であった。本書の著者は彼の医学・医療の業績のみでなく、文筆家、画家としての才能にも触れてまとめている。私は学生時代に原書「HARVEY CUSHING: Surgeon, Author, Artist」を読む機会があったが、今回はその日本語訳を私の感銘を受けた本として紹介した。

★大学来訪者一覧（2001年度後期）

- ・宇都宮市峰地区社会福祉協議会
- ・大田原市立金丸小学校児童
- ・大田原市立親園中学校生徒
- ・川崎医療福祉大学
- ・熊本機能病院
- ・黒羽町立川西小学校児童
- ・神戸市看護大学
- ・国際協力事業団・経済産業省
- ・埼玉県大和町
- ・坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校学生
- ・鈴鹿医療科学大学
- ・ストックホルム会議フォローアップ会議
- ・第4回国際寄生虫対策ワークショップ
- ・鶴見大学
- ・栃木県総合教育センター
- ・栃木県県南高等学校看護専門学校
- ・栃木県北部地方拠点都市地域整備推進協議会
- ・那須町生きがいと健康づくり推進協議会
- ・日本赤十字社近衛忠輝創社長
- ・日立デバイスエンジニアリング
- ・パリマラソン実行委員長
- ・東松山市社会福祉協議会
- ・兵庫県立総合リハビリテーションセンター
- ・福岡県立高校再編問題研究委員会
- ・湯津上村立蛭田小学校児童

（五十音順）

サークル紹介 ～チアリーディング部～

国際医療福祉大学には、いろいろな部活やサークルがあります。今回はその中からチアリーディング部の部長さんのインタビューを紹介しましょう。



▲安部さやかさん

「自己紹介をしていただけませんか。」

「言語聴覚障害学科、三年、安部さやかです。現在何名で活動しているのですか。」

「今のところ十四名で活動しています。」

「チアリーディングはいつから始めたのですか。」

「大学に入ってから始めました。私だけでなく他の部員も大学に入ってから始めたんです。」

「どんな所で活動しているのですか。」

「昨年は、十一月に大田原市で行われた産業文化祭や西那須野町のふれあい祭りなどに参加してお客様の前で演技を見ていただきました。」

「部活は楽しいですか。」

「はい、すごく楽しいです。チアリーディングはチームワークが大切なんです。ダンスやモーションと呼ばれる英語の掛け声を掛けながら動く動作の他に、人を持ち上げたりすることが主な演技となっていて、その下で支える人として信頼関係が成り立っていないとうまく行かないものなんです。信頼関係を築く上でも、メンバー全員仲がよいですし、でもメンバーとの仲がよいから楽しいというわけでもないんです。」



◀部員の皆さん



▶入学式後の部活紹介にて

「楽しいというのではなく、チアリーディングを楽しむながら毎日練習をしています。」

「チアリーディングの魅力を教えてくださいませんか。」

「チアリーディングというのは「応援する」という意味なんです。観客の皆さんと一体になつて演技が出来るというのが魅力だと思っています。演技している方も楽しいし、見ていただいているお客さんもしっかりと楽しんでいる。そういうお客さんとの一体感が味わえるというのもチアリーディングの魅力だと思います。」

「新人生へ向けてのメッセージを頂きますか。」

「チアリーディングというのは、見ているだけじゃなく、やってみるとまた違う楽しさや喜びがあります。なのでぜひ一度見学に来てみて下さい。チアリーディングの魅力をわかってもうえると思います。学科も学年も、そして性別も問いませんよ。」

（インタビュアーにお答えいただき、ありがとうございます。）

医療福祉学科 介護福祉コース開設

平成14年度から医療福祉学科の定員を100名から140名に増員して、そのうち50名は介護福祉士養成に充てることにしました。この養成については、厚生労働省から養成施設の指定を受けており、3月18日に指定書の交付を受けました。

介護福祉コースを開設するねらいは、老人福祉の分野に進路希望する学生に、社会福祉士と介護福祉士の2つの資格を取得させて、相談援助の専門職としての教育と介護の専門職としての

教育を同時に行い、将来特別養護老人ホームや老人保健施設、在宅介護の領域で幹部職員として活躍できることを期待したものです。

大学のなかに養成のための実習施設を整備しました。また学内にはリハビリ施設があり、平成14年度には老人のグループホーム設置も予定されており、全国でもトップレベルの条件整備をした福祉学科となります。（鈴木五郎）

介護福祉コースの実習室紹介（M棟）

M棟には、介護福祉士養成教育に必要な介護実習室、家政実習室兼調理実習室、入浴実習室、講義室等があります。介護福祉士の活動範囲は、福祉施設内はもちろんのこと家庭内においても身体介護や家事援助、介護に関する助言・指導を行い

ます。ですから、家庭内の介護場面を想定した畳の部屋や浴室は、より実践的な学習のために不可欠です。

ここで学び、さらに外部実習を経て介護福祉士としての専門性を高めていきます。（山口光治）



真新しい教室で、さあ学ぼう！



ベッド周りの環境を整えます。



和室での介護方法を実習します。



家庭の浴槽も福祉用具を加えると入浴しやすくなります。



この簡易浴槽を家庭内に持ち込んで移動入浴。



特殊浴槽で学生同士が入浴介助を体験。

編集後記

新しい季節が始まりました。人は色々な思いをもって行き来しますが、大学もその思いが交錯する一つの間であると思います。本学の場合、基本的には「人の命」とかかわることを学びあう場所であると考えます。そのことを含めて新たな始まりの時を、今一度「大学とは？」という問いと真摯に向き合う機会としたいのもです。興味のある方は、K. ヤスパーズの「大学の理念」（森昭訳 15版発行、理想社、1970）を一読することをお奨めします。（荻原喜茂）

I UHWクイズ ～第31弾～

下記の人達はそれぞれの領域で大きな仕事をした人です。さて、それぞれの人の名前前で○でふせた部分の最初の1文字を並べると一つの単語になります。その単語と意味はなんでしょう。解答用紙の所定の欄を書き込みの上、事務局窓11外側にあるメールボックスへ投函してください。正解者の中から抽選で1名に旅行ギフト券をプレゼント。締め切りは5月20日です。

- 1) ○. グリム (弟) 2) ○. キャロル
3) ○. クーン 4) ○. クレペリン

解答用紙

学科	学年
名前	
解答	